

推 薦 書

2006-07 年度経済地理学会名誉会員推騰委員会は、会則第 5 条第 4 項にもとづく経済地理学会名誉会員候補として、下記のとおり、伊藤喜栄会員を推薦いたします。

2008 年 5 月 24 日

名誉会員推薦委員会

委員長 合田昭二

委員 小俣利男 加藤幸治 竹内裕一 鈴木洋太郎 小林浩二
柳井雅人 千葉昭彦

記

伊藤喜栄会員の研究は、実態分析と理論研究の両面にわたってなされ、その領域は、工業地理学を軸としつつ、経済地理学の広い分野に及んでいる。取り上げられた個別研究のテーマは、産地型産業・大都市・山村・地域開発政策・立地理論・経済地理学方法論など多面にわたり、日本と海外に広く題材を求められ、数多くの業績として結実した。またこれらの研究は、地理学における研究の蓄積に立脚するとともに、経済学や歴史学の視点を積極的に活用しており、経済地理学と隣接分野との境界領域を充実させることにも貢献するものとなった。

上記の研究成果は、経済地理学年報など主要な学会誌に発表されたほか、『現代世界の地域システム』(大明堂、1996 年)、『教養としての地歴史学:歴史の中の地域』(日本評論社、2006 年)、『イギリスの産業立地と地域政策:バーローレポート』(ミネルヴァ書房、1986 年)、『立地と空間:経済地理学の基礎理論(上・下)』(古今書院、1997 年)などの著書・訳書にまとめられ、学界に刺激を与え続けた。また同会員の恩師である松井武敏氏の著書『経済地理学の方法』の編集・出版に際しても中心メンバーとして尽力された。さらに本学会におけるシンポジウム・フォーラム・ラウンドテーブルなどにおいて、つねに積極的な活動をされた。

同会員は、大分大学・名古屋市立大学・金沢大学・慶慮義塾大学・神奈川大学で、教育・研究に従事され、多くの後進を育成された。著書『図説日本の地域構造』(古今書院、1986 年)、『図説日本の生活圏』(古今書院、2004 年)、訳書『大学の地理学(1-3)』(古今書院、2000 年)などにより、大学における地理教育の発展と普及に貢献された。

同会員は 1931 年生まれで、本学会創設時以来の会員である。その間、本学会の役員として、幹事(1975 年-81 年度)、代表幹事(1979-81 年度)、

評議員(1982-90 年度、1994-2001 年度)、会計監査(1991-93 年度、2002-03 年度)を務められ、学会運営に多大の貢献をされた。代表幹事としては幹事会議事録の整備を進めるなど、目立たない仕事にも尽力された。

以上の伊藤喜栄会員の功績は、本学会の名誉会員にふさわしいものであり、ここに名誉会員として推薦する。